



自然の魅力！絵本の魅力！

・講師 高柳 芳恵氏

・科学絵本を読むことだけにとどまらず、子どもたちの自然に対する好奇心を
よりひろげていくには、どうしたらいいのでしょうか。

草花遊びや自然観察会などを通して子どもたちに関わってこられた講師に、
「自分の眼で見て、考え、感じること」の大切さについて、子どもたちとの
楽しいエピソードを交えながら、お話しして頂きます。

さあ、もっと自然と仲良しになりましょう！



【高柳 芳恵氏プロフィール】

私設「ゆりがおか児童図書館」で、ボランティアを始めて35年余。現在は、公立図書館や小学校などでも、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせなどを行っている。また、自然観察会に参加したことがきっかけとなり、植物や昆虫の観察や、生態研究に打ち込むようになる。親子対象の草花遊びや自然観察会なども行っている。著書に『葉の裏で冬を生きぬくチョウ』、『どんぐりの穴のひみつ』（以上偕成社）、『どんぐりをおとしたのはだれ？』（かがくのとも）『ゆうぐれのさんぽ』（ちいさなかがくのとも 125号）（以上福音館書店）などがある。科学読み物研究会会員、生態研究の専門研究家。

※ 日程：平成29年7月4日（火）10：00～12：00

※ 会場：宇都宮市立中央図書館 3階 集会室

※ 対象：宇都宮市民 及び 宇都宮市内で読み聞かせボランティアなどの活動をしている人
（お子様連れはご遠慮ください）

※ 定員：50名

※ 費用：無料

※ 申し込み及び問い合わせ：6月1日（木）9時30分～

・直接または電話で、宇都宮子どもの本連絡会（宇都宮市立中央図書館内 TEL 636-0231）まで。

※定員になり次第、締め切ります

※欠席の時は、必ずご連絡ください

主催：宇都宮子どもの本連絡会

後援：宇都宮市教育委員会